

富田林市ケアセンターのあり方検討に係るサウンディング型 市場調査の実施結果について

1. 調査趣旨

本施設は築後 30 年を経過しており、平成 30 年に策定された「富田林市公共施設再配置計画（前期）」のなかでも、“介護老人保健施設機能は維持、健康づくり・世代間交流施設機能はあり方を検討、さらに建物については民間事業者への譲渡等を検討”との再配置方針が示されました。本市としては、これを基に、同施設のあり方検討を開始し、令和 3 年度には、初めてとなる標記調査を実施いたしました。しかし、コロナ禍に不安定な世界情勢も重なり、決して良いとは言えない経済状況の中での実施だったこともあり、有効な提案を得ることはできませんでした。そのため、市として令和 6 年度から 5 年間の指定管理者制度による施設運営を決めました。設置したあり方検討委員会でも“適切な時期に再検討すべき”との意見が出されており、この度、改めて同調査を実施しました。

サウンディング型市場調査とは…

事業発案段階や事業化段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法。

2. 調査経過

		日 程
実施要領の公表		令和 8 年 1 月 13 日 ～ 4 月 17 日
現地見学会	申込期間	令和 8 年 1 月 13 日 ～ 2 月 10 日
	実施日時	令和 8 年 2 月 16 日 14 時
質疑	受付期間	令和 8 年 2 月 17 日 ～ 2 月 26 日
	回答日時	令和 8 年 3 月 9 日 11 時
サウンディング	申込期間	令和 8 年 3 月 10 日 ～ 4 月 17 日
	実施期間	令和 8 年 5 月 25 日 ～ 5 月 28 日

3. 調査結果

(1) 参加者数

- ・ 事前説明会及び現地見学会 … 6 団体
- ・ サウンディング（対話） … 2 団体

(2) サウンディング（対話）での主な提案内容

	A団体提案概要(5月25日)	B団体の提案概要(5月28日)
運営を希望する施設の機能について	介護老人保健施設機能とウェルネス施設機能の両方	介護老人保健施設機能とウェルネス施設機能の両方
本施設(建物)の活用方法について	建物の全部を借り受けて運営(無償)	指定管理者制度による運用
新たな運営の具体案について	高齢介護サービスと障害福祉サービスを一体的に提供する →介護老人保健施設のベッド数を一部見直して、他サービスへ転換 →複数の障害福祉サービスを提供し、プール(廃止して転用)、トレーニングルーム(一般利用縮小)は障害福祉サービスに利用 →貸館の一般利用は継続	現在の施設コンセプトを基軸として、各機能を進化・昇華していく。 →“シームレス在宅支援モデル”の確立 →DX化による市民サービスの飛躍的向上 →講座事業の体系化 →多世代交流拠点としての機能強化 →貸館事業の稼働率向上 →市の健康政策・介護予防政策との連携強化
活用にあたっての課題や実現に向けた要望について	・提案事業の委託 ・高額な施設改修費の市費負担	・複合施設の介護予防効果の数値化 ・柔軟な室料設定 など

4. 今後の対応

今回得られた提案内容も参考にしながら、令和9年度中を目途として、庁内で連携しながら、今後の本施設の管理・運営等のあり方について一定の方向性を出すべく、検討を進めてまいります。